

沈線文が無く縄文のみである。大きさを口径× 頸部× 胴部最大径× 底径× 高さで示すと  $4.2 \times 3.8 \times 9.8 \times 4.6 \times 13.6 \mathrm{cm}$  である。

上代川遺跡出土のものと比較すると、高さに 比べて横幅が若干狭く全体的に細めである。ま た無紋に対して縄文地紋である。無紋帯が頸部 から口唇にかけて巡り、底部際も地紋のみであ る。形状は器壁の厚みが一定で、あげ底ぎみの底 部と口唇断面の形状に類似点がある。二本と三 本の違いはあるが複数本の沈線で施文する点と、 頸部に一単位の穿孔部がある事が挙げられる。

## 7.4 壺の時期

墓 18 出土土器の時期を考察する。豊平川河 畔遺跡墓 18 出土土器 (図 4-1<sup>-3</sup>) は、そこから 南西に約 400 m離れた元江別 1 遺跡墓 19 出土 土器に似る。墓 19 出土 14 個体の復元土器には 二本ないし三本一組の沈線施文を持つ個体が目 立つ (大泰司 2021P.11)。」

豊平川河畔遺跡墓18(図4)と元江別1遺跡 墓 19 (図 5) の出土土器群を比較すると、墓 18 図 4-1 は縄文地紋で胴部最大径部分の横走沈線 が、墓 19 図 5-3・13 と似る。今回の小型壺図 4-2 は一単位の穿孔と胴部文様構成、口唇際の無 紋帯と底部際が縄文地紋のみで沈線文が無い点 が図 5-6・10 に似る。図 4-7 は頸部の幅広い無 紋帯があり、その上下に横走沈線が施され、帯 の下に刺突列が横方向に並ぶ点、そして、口唇 部に短い縦方向の短沈線が横方向に連続して並 ぶ点、そして器形が図 5-11 と似ている。両群は 時期的に近いと考える。両群を様似町冬島遺跡 出土土器の検討 (大泰司 2021P.15) で作成した 表1のどこに位置するか考えると、網掛けで示 した時期の頃であり、結果、川岸場式並行の可 能性が高く、上代川遺跡の小型壺と豊平川河畔 遺跡の小型壺は近い時期の土器と考えた。上代 川遺跡出土弥生土器は川岸場式の頃をV群3類 として、そのうち文様要素から、田舎館式ひい ては恵山式の影響が考えられるものをAとした 事は2項で触れたが。まとまりは三つあり、残 り二つのうちBは北上川沿いの土器型式・川岸 場式、Cは馬淵川・新井田川流域・八戸市域な いし野田村の在地的な特徴を持つ土器 (岩埋文 2020p.167) である。

A とした今回の小型壺が江別市の小型壺と「類同」とまではいかないが、類似点があった事を記した。今後も検討を続けたい。

江別市元江別 1 遺跡墓 19 出土土器と、様似町 冬島遺跡出土土器に類似点があったという内容 の文章 (大泰司 2021 p.10 11) を今回、引用した。この様似町と野田村とは人の行き来が盛んで、1998 年に友好村町を締結した。この人々の動きは、流れの強い津軽暖流を避けた結果なのであろうか。上代川遺跡では北田勲氏の采配の元、作業に没頭できました。土器整理は石川日出志先生のお力で乗り切る事が出来ました。江

調賞なので行きまれていかか

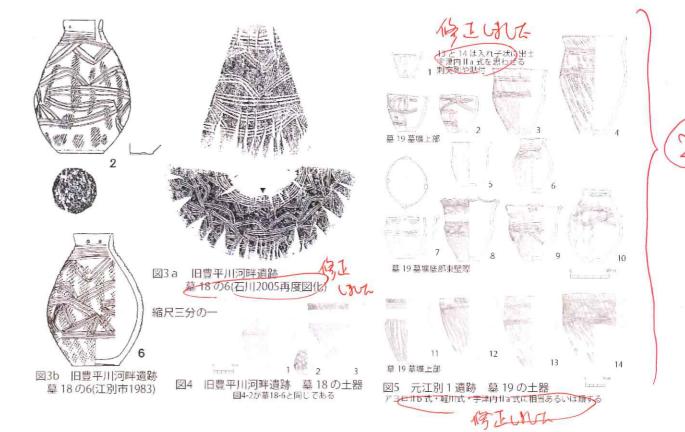


表 1 時期考察表(大泰司2021冬島遺跡関連編年表を援用)

大温を春の時間時 大温を春 (024から後春)					通期(大選等者2004から独特) 他山・湖島・超振西部		向有味も透析 有力者(伊地 市1983)での 対応	道央(大消患者2004から批算)		英物接男		通覧(大流史書2004から技術)			石(10(2005) から抜粋		単合用
				行列				期報・後古・石坊・空 知	日瀬			十萬・紅路・松文	经进	所 他	時 第三回無疑	#A	更 (2005) 新期
54	文统明	大利A式	植文统斯						が明確性			原ヶ丘(或紙	41.7.66A	11			
9年		经尺式	SE.	1800+					油料	大奸郡式	大野郡武	フショコタン下層	宋消草一	1	11	砂沢式	20
		二枚權式	械	1,6963-7		南有味の遺跡が・外部	(8)	H317 N30	大片到式		· 电路运送 1—266 66 8 A 65	西津式 中/島	中/島	95	音起島式	五形式/二枚模式	001
	M1104G	学数以式	文	1800		南有珠/通踪V/展	1130	江阳太明6	COLUMN !		(MURLS)(T), ( > 2)MI( SU SU-NEE)	TB/RING	<b>华津内</b> 亚式店			字数式/大石平式	1500
		田台地式	10	- Note 1	重要用川田	南有班台連絡大權	18.85	江州太阳 5 - 程川氏	美術和技		果款的式3~4款(任和6款)	下田/用1式新	学事内川山武制	1	3	The state of the s	100
	Smit	双盤式	101	1100	登布度用(V	73034		<b>使北人式</b>			强注A式.	下田ノ沢川古古	宇宙内川6式古				
		表示式		11.50								下田ノ州川式新	宇宙内以近式新	18	4		196

別市では佐藤一志氏に便宜を図っていただいて おります。記して感謝いたします。

## 7.4引用文献

2020 公益財団法人岩手県文化振興財団埋蔵文化財センター『上代川遺跡発掘調査報告書』

岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第 713 集

1983 江別市教育委員会『町村農場 1・七丁目沢 7・旧豊平川河畔一江別チャシー・後藤・大麻 3』江別市文化財調査報告書 X Ⅶ

1981 江別市教育委員会『元江別遺跡群 後藤遺跡 旧豊平川河畔遺跡 元江別 1 遺跡 元江別 2 遺跡 元江別 5 遺跡 元江別 10 遺跡 元江別 11 遺跡』 江別市文化財調査報告書 X Ⅲ

2021 大泰司統 「冬島遺跡の特徴的な土器」『様似郷土館紀要 3号』

(大泰司 統(公財)北海道埋蔵文化財センター)

2005 石川日出志『関東・東北弥生土器と北 海道続縄文土器の広域編年』

